

EndomeTRIO

● 胚移植 → 着床に向けて
子宮内膜が教えてくれること



ERA®

子宮内膜着床能検査

ERAは子宮内膜着床能を調べ、胚移植に適切なタイミングを評価・解析します。

検査内容

子宮内膜
着床能



EMMA

子宮内膜

マイクロバイオーム検査

EMMAは妊娠の可能性を高めるため、子宮内膜に関連した細菌にターゲットを絞って解析します。

子宮内膜
細菌叢



ALICE

感染性慢性

子宮内膜炎検査

ALICEは慢性子宮内膜炎と関連がある細菌を検出します。

慢性子宮内膜炎
原因菌

EndomeTRIO は3 検査を同時に解析

ERA EMMA ALICE
検体採取は
1回のみ!
ERA * 3つの検査を1回で

UPGRADED
EMMA
& ALICE
PANEL

子宮内環境改善のために

あとでも TRIO

個別に実施することも可能です。

EMMA&ALICE検査を
先行実施



ERA検査を追加実施



子宮内膜
マイクロバイオーム検査



感染性慢性
子宮内膜炎検査



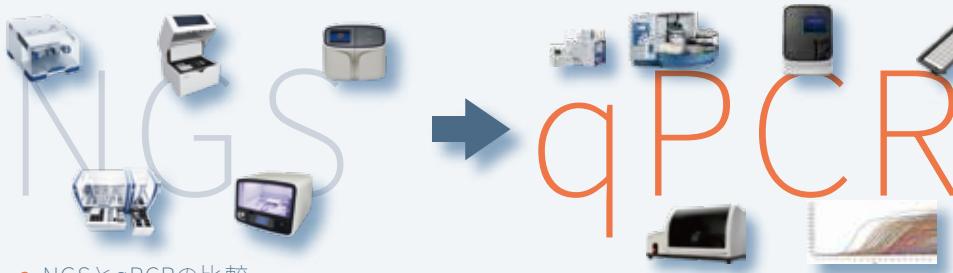
EMMA & ALICEはqPCRパネルの導入により、菌の種類と量をより正確に把握し、着床に最適な子宮内環境をサポートします。

UPGRADED EMMA & ALICEのポイント

1

従来のNGSから 最適化されたqPCRパネルへ

過去5年で70,000件の臨床サンプルをベースに最適化した高感度で特異性の高いパネルにより正確な検査結果が期待できます。



● NGSとqPCRの比較

	NGS	qPCR
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 不特定多数の種を同時に検出するのに有用 新規遺伝子の発見に有用 	<ul style="list-style-type: none"> 特定の種を定量的に検出・評価するのに有用 既知のシーケンスの検出が容易

2

細菌を定量的に検出

細菌の量を把握することで、抗菌薬・抗生物質やプロバイオティクスの選択、その種類や量など、より適切な治療の選択をサポートします。



3

子宮内膜の病態に関連する 細菌を種レベルで特定

NGSによって検出された子宮内膜に関連する細菌種の98%を網羅する精度の高いパネルを開発。種レベルでの検出により、適切な抗菌薬・抗生物質の選択が可能になります。

※2%は生殖に関連しない細菌

明確に定義された細菌種パネル

EMMA

妊娠率を改善あるいは低下させる細菌を検出・測定

正常での優占種

ラクトバチルス
4種+1



妊娠率を低下させる細菌種

計16種



ALICE

妊娠率を低下させ、なおかつ慢性子宮内膜炎(CE)に関連する細菌を検出・測定

CE関連性細菌種

計10種
(従来と同じ)



分析対象 明確に定義された細菌種パネル

ラクトバチルス 計4種+1

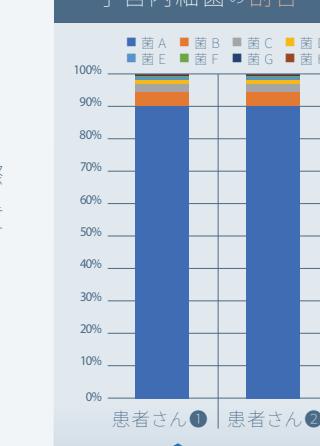
病原性細菌 計26種 (EMMA 16種+ALICE 10種)

種レベルでの検出・測定により、より特異性の高い治療法の選択が可能になります。

細菌の割合ではなく量に着目する理由は、抗菌薬・抗生物質の濫用を防ぐため

病原菌について見かけの割合が高くても実際の細菌の量が少ない場合、抗菌薬・抗生物質による治療は不要な場合があります。

子宮内細菌の割合



子宮内細菌の量



“割合”で見ると全く同一の結果に見えるケースでも、“量”で示すと大きな違いが見つかる場合もあることが分かります。

